



**ジャストスマイル5 /R.2  
ジャストジャンプ5 /R.2  
セミナーテキスト(別冊)**

- ・授業サポーター
- ・学びあいノート



## 目次

このテキストでは、ジャストスマイル5/R.2、ジャストジャンプ5/R.2で強化された「授業サポーター」および「学びあいノート」について、基本操作と活用方法をご紹介しています。

他のソフトについては、別途ご用意している「ジャストスマイル5 セミナーテキスト」「ジャストジャンプ5 セミナーテキスト」を併せてご参照ください。

項目	内容
1. 授業サポーター	1-1. 授業サポーターについて ..... 1 1-2. 授業準備を行う ..... 2 起動／年組めあてと授業モード画面／メイン画面／ 電源オン 1-3. 授業進行に役立てる(1) ..... 5 配付回収／拡大比較／操作禁止／画面配信／ みんなの答え 1-4. 授業進行に役立てる(2) ..... 15 メッセージ／録画開始／リモート操作／ 学びあいノート(先生用)／プチアンケート 1-5. 電子黒板で便利な「授業ツール」を活用する ..... 16 モニター切り替え／ズーマー／マーカー／ スポットライト／シール／タイマー 1-6. 授業を終了する ..... 17 授業終了
2. 学びあいノート	2-1. 学びあいノートについて ..... 18 2-2. 先生側の準備画面と3つの使い方 ..... 19 学びあいを開催する 2-3. 「ボタンでアンケート」を実施する ..... 20 ボタンでアンケートを準備する／開始する／ 回答する／回答状況を確認する／締め切る 2-4. 「ワークシート配布」をする ..... 24 ワークシートを準備する／配付する／答えを書き込む 2-5. 「ノート回収」をする ..... 26 ノート回収を開始する／提出する／ 提出状況を確認する・締め切る／ 取り上げるノートを選ぶ／まとめる

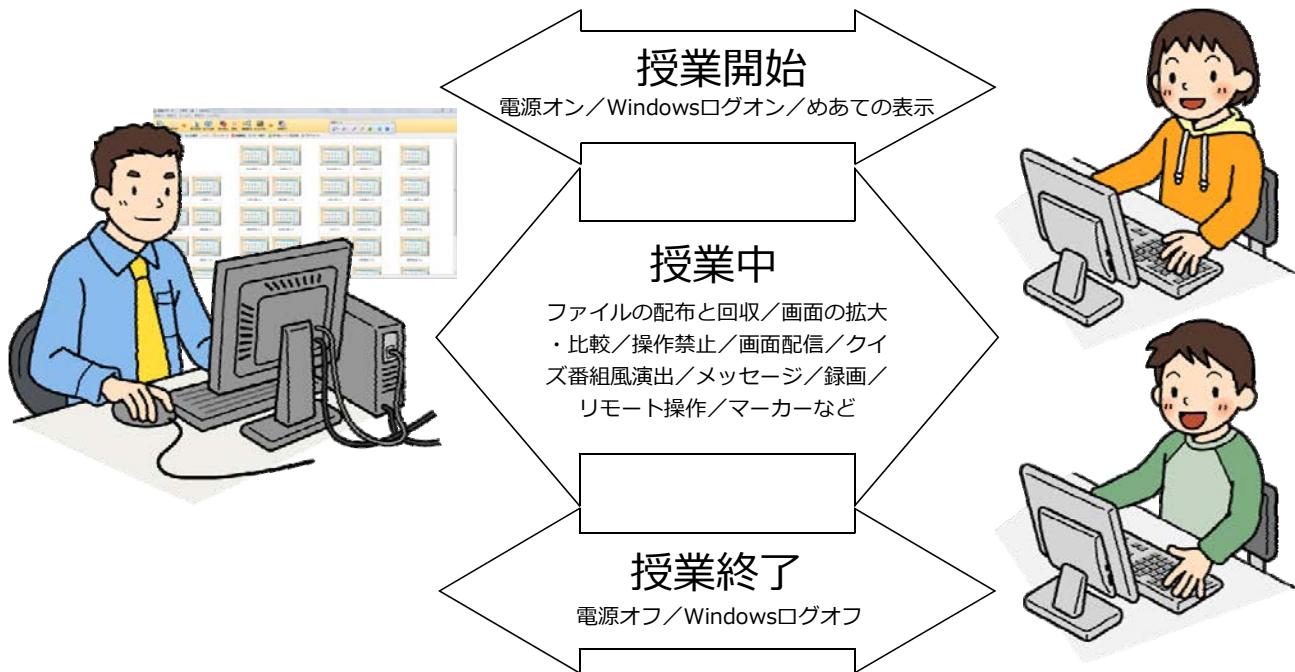
※ 本テキストに掲載している画面や作例は「ジャストスマイル5 /R.2」のものですが、「ジャストジャンプ5 /R.2」および「ジャストフロンティア2 /R.2」ともほぼ共通です。読み替えてご活用ください。

# 1. 授業サポーター

ジャストスマイル5 /R.2・ジャストジャンプ5 /R.2に搭載された、新しい「授業サポーター」について紹介します。

## 1-1. 授業サポーターについて

「授業サポーター」は、ICTを活用した授業を円滑に進めるための、授業支援ソフトです。先生機と児童生徒機がネットワークで連携しながら、次のような機能が利用できます。



- 授業支援機能の利用にあたっては、先生機に「授業サポーター」、児童生徒機に「アシストボタン」がインストールされている必要があります。
- 初期設定として、先生機と児童生徒機を起動して、児童生徒機の自動認識を行つておく必要があります。詳しくはマニュアル「セットアップ・運用ガイド」をご参照ください。
- ジャストスマイル・ジャストジャンプの管理メニューにて、名簿と個人フォルダの設定が完了している必要があります。運用方法によっては、一部の機能が利用できない場合があります。



### ● One Point ● R.2で強化されたポイント

- 2013年6月発売の「ジャストスマイル5 /R.2」「ジャストジャンプ5 /R.2」に搭載されている「授業サポーター(Ver.1.2)」では、下記の機能が強化されました。
- ・画面配信がよりなめらかに
  - ・画面に書き込めるマーカーなど、電子黒板利用時に便利な「授業ツール」が追加
  - ・先生機から児童生徒機のWindowsログオンが実行可能に
  - ・児童生徒機のリモート操作や操作画面の録画ができるように
  - ・校内ネットワークで同時に複数の授業サポーターが利用できるように(要設定)

## 1 – 2. 授業準備を行う

まず、先生機で授業サポートーを起動します。

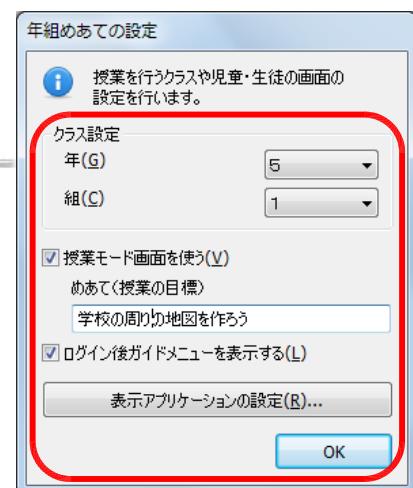
### 操作 授業サポートーを起動する・年組めあてを設定する【先生】

ジャストスマイル・ジャストジャンプを「先生機・管理者機用」としてセットアップしたパソコンでは、授業サポートーが「スタートアップ」に登録されるため、起動したら自動的に授業サポートーが開くようになっています。

自動的に開かない場合は、下記の手順で授業サポートーを起動します。

#### 【先生側の操作】

- ① スタートメニューから「授業サポートー」をクリックするか、デスクトップの授業サポートーアイコンをダブルクリックします。授業サポートーが起動し、[年組めあての設定] 画面が表示されます。



- ② [年組めあての設定] 画面で、授業を行うクラスを設定し、[めあて (授業の目標)] にその授業のめあてを入力して、[OK] をクリックします。

各児童生徒機では、上記で指定した年・組が選ばれた状態で、ログイン画面が開きます。

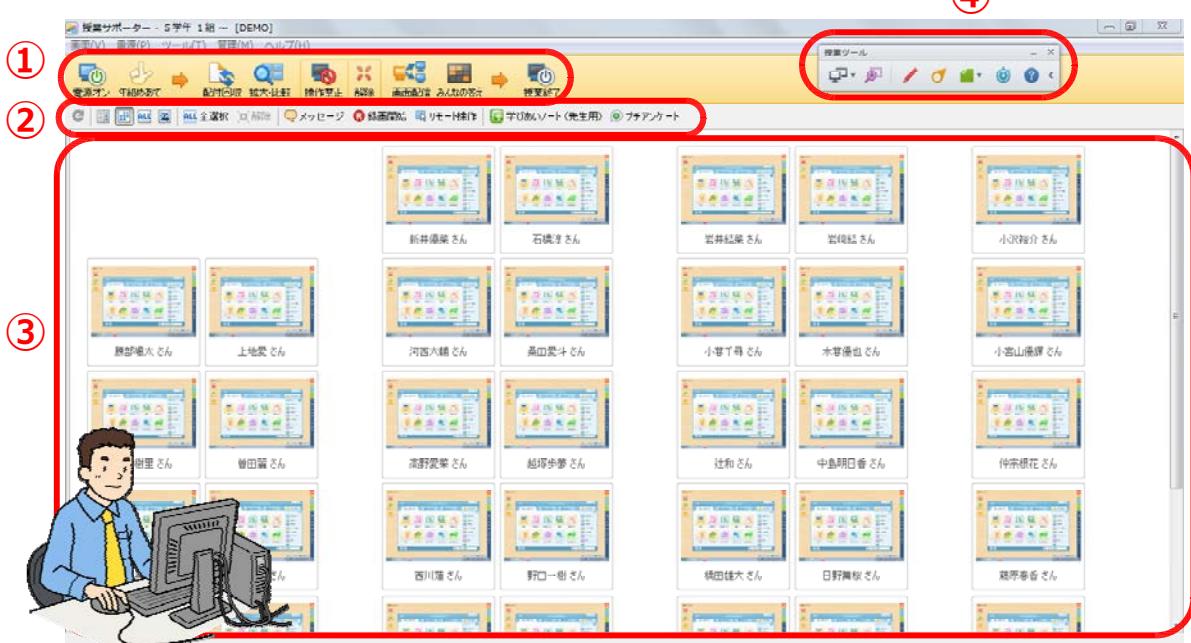


このとき、[授業モード画面を使う]にチェックが入っている場合は、児童生徒機のデスクトップ画面が、木目調の「授業モード画面」で覆われます。

常に左上にめあてが表示されているので、児童生徒にはこの時間にすべきことを意識させつつ、デスクトップの余計なアイコンを覆い隠して、授業に集中させることができます。

## 確認 授業サポーターの画面【先生】

授業サポーターのメイン画面を確認しておきましょう。



### ① コマンドバー

授業進行の流れに沿って左から順に、おもな機能を大きなボタンで配置しています。

### ② ツールボックス

画面表示の切り替え、全選択・解除などの操作ボタンなどをまとめています。

### ③ 一覧画面

児童生徒用パソコンの現在の画面が一覧表示されます。

クリックして操作対象となるパソコンを選ぶこともできます。

### ④ 授業ツール

先生の画面に書き込めるペンや、大事な部分を隠すシールなど、電子黒板やプロジェクターで先生機の画面を見せながら授業進行するときに便利な演出ツールが使えます。



### ● One Point ● 児童生徒機を選択して操作する

授業サポーターのメイン画面では、児童生徒機のサムネイル画面を、

- ・ドラッグして範囲選択する
- ・Ctrlキーを押しながら順にクリックする

などして選び、その児童生徒機にだけ各操作を実行することができます。このとき、選択されている児童生徒機は、サムネイル画面が水色の枠で囲まれて表示されます。

なお、「授業終了」など一部の機能は、選択にかかわらず全台に作用します。

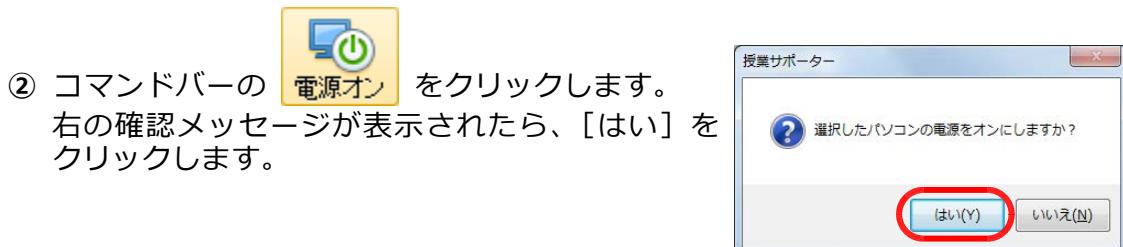
## 操作 児童生徒機の電源を一斉にオンにする【先生】

[電源オン] では、先生機から、児童生徒機の電源を一斉にオンにできます。

電源オン機能は、児童生徒機のWake-On-LAN機能が有効になっている場合に利用できます。

### 【先生側の操作】

- ① メイン画面で、電源をオンにしたい児童生徒機をクリックして選択します。  
選択されていない場合は、すべての児童生徒機が対象となります。



- ② コマンドバーの **電源オン** をクリックします。  
右の確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。
- ③ 児童生徒機の電源が順次オンになります。  
起動時の消費電力抑制のため、台数が多い場合は、数秒ずつずらしてオンになります。
- ④ 起動後にWindowsログオンが必要な場合は、自動的にログオンも行われます。  
あらかじめWindowsログオン情報を登録しておく必要があります。



## 1 – 3. 授業進行に役立てる(1)

### 操作 児童生徒のマイフォルダにファイルを配る【先生】

[配布回収] では、マイフォルダの仕組みを利用して、指定した年組の児童生徒全員のマイフォルダに、先生が指定したファイルを一斉に配布・回収することができます。

ジャストスマイル・ジャストジャンプのマイフォルダの仕組みを利用している場合に利用できます。

#### 【先生側の操作】



- ① コマンドバーの **配付回収** をクリックします。

このとき、先生機にてジャストスマイル・ジャストジャンプにログインしていない場合は、ログイン画面が表示されますので、先生ユーザーでログインしてください。

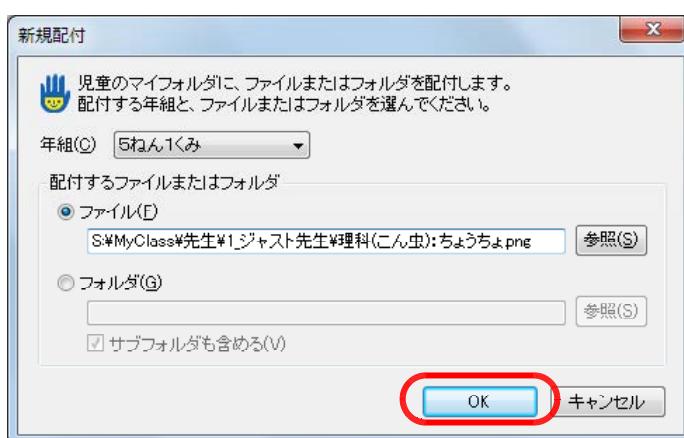
- ② [配布・回収] の一覧が表示されます。

新たに配布する場合は、[新規配布] をクリックします。

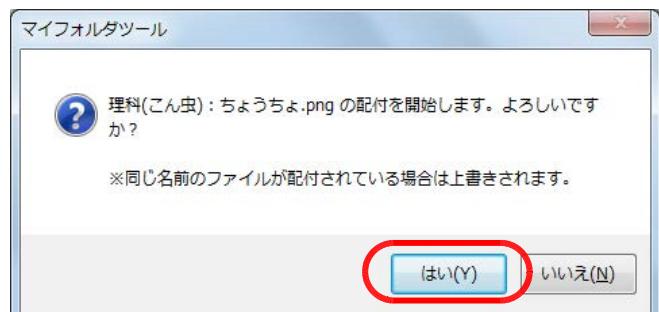


- ③ 配布する年・組と、配布するファイルまたはフォルダを選択します。

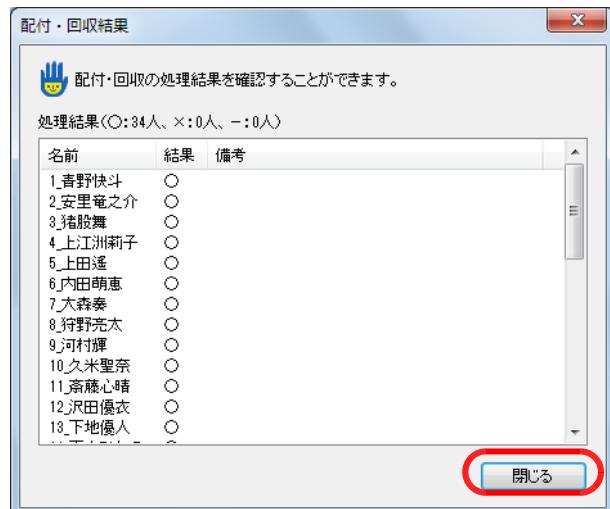
設定できたら、[OK] をクリックします。



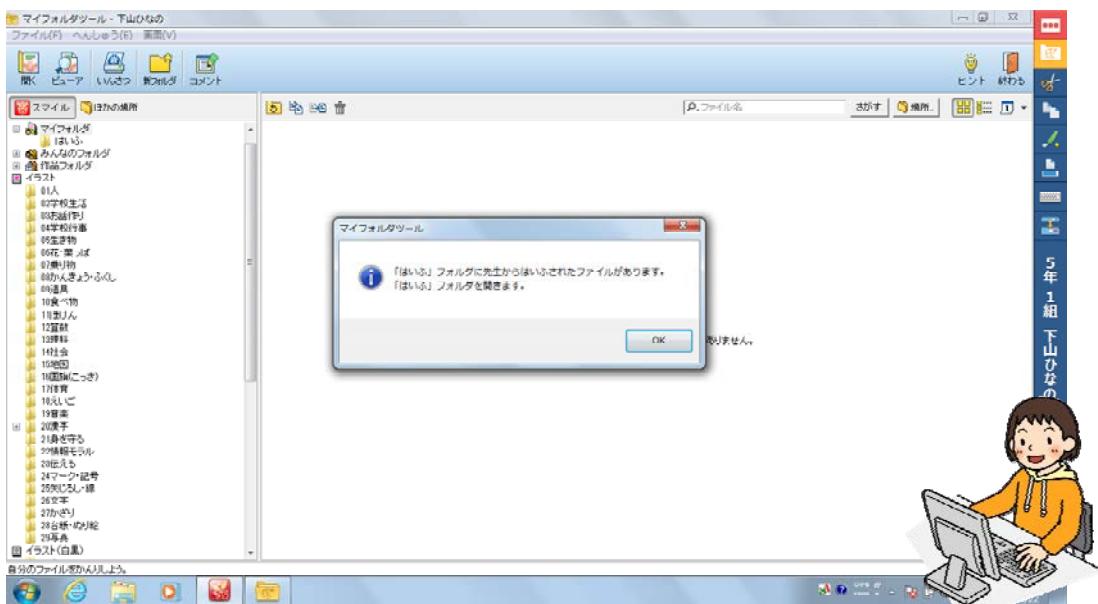
確認ダイアログが出るので、  
[OK] をクリックします。



- ④ 各児童生徒のマイフォルダにファイルが配布され、配布結果が表示されます。確認したら、[閉じる]をクリックします。

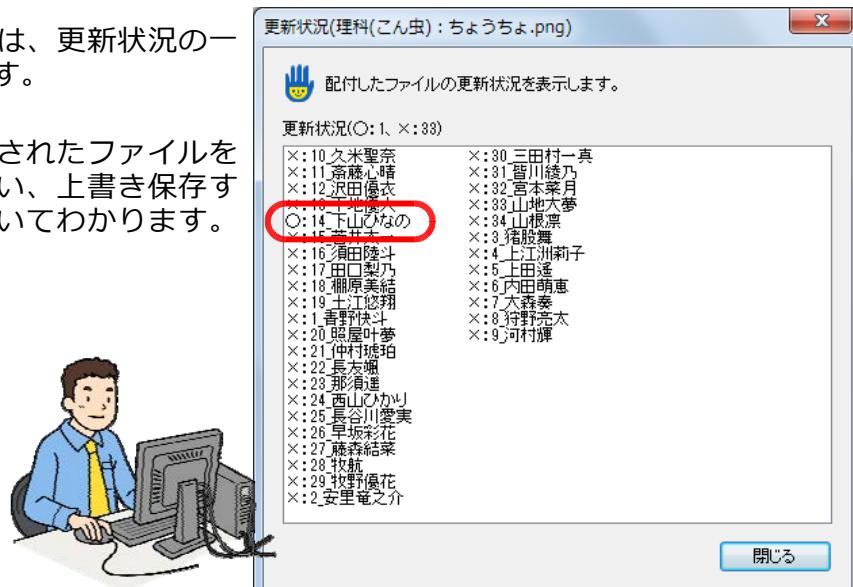


配布された児童生徒機では、ファイルが配られたことが表示され、自動的にマイフォルダが開きます。



- ④ その後先生機では、更新状況の一覧が表示されます。

児童生徒が配布されたファイルを開いて作業を行い、上書き保存すると、○印がついてわかります。



## 操作 児童生徒のマイフォルダに配ったファイルを回収する【先生】

配ったファイルを回収するときは、以下の手順で行います。

### 【先生側の操作】

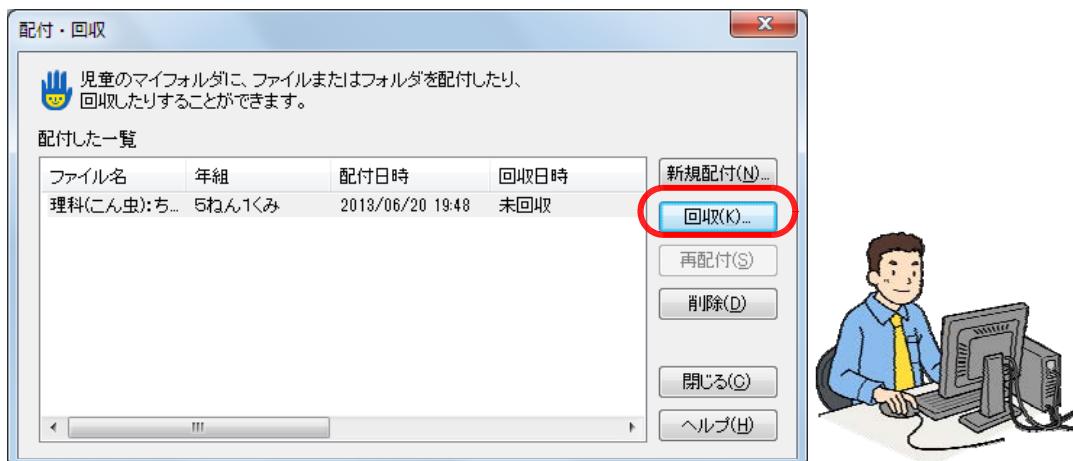


- ① コマンドバーの **配付回収** をクリックします。

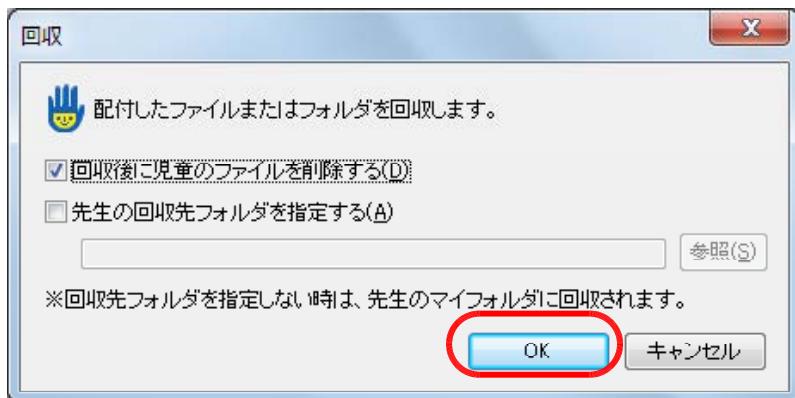
このとき、先生機にてジャストスマイル・ジャストジャンプにログインしていない場合は、ログイン画面が表示されますので、先生ユーザーでログインしてください。

- ② [配布・回収] の一覧が表示されます。

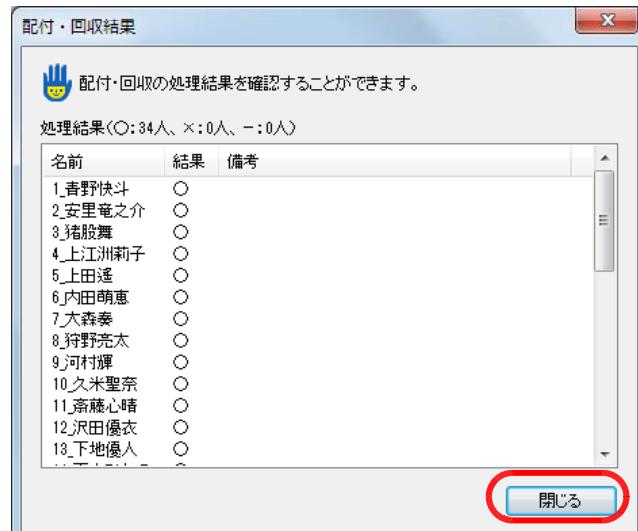
一覧から回収したいファイルを選んで、[回収] をクリックします。



- ③ 回収方法の選択ができます。設定できたら [OK] をクリックします。

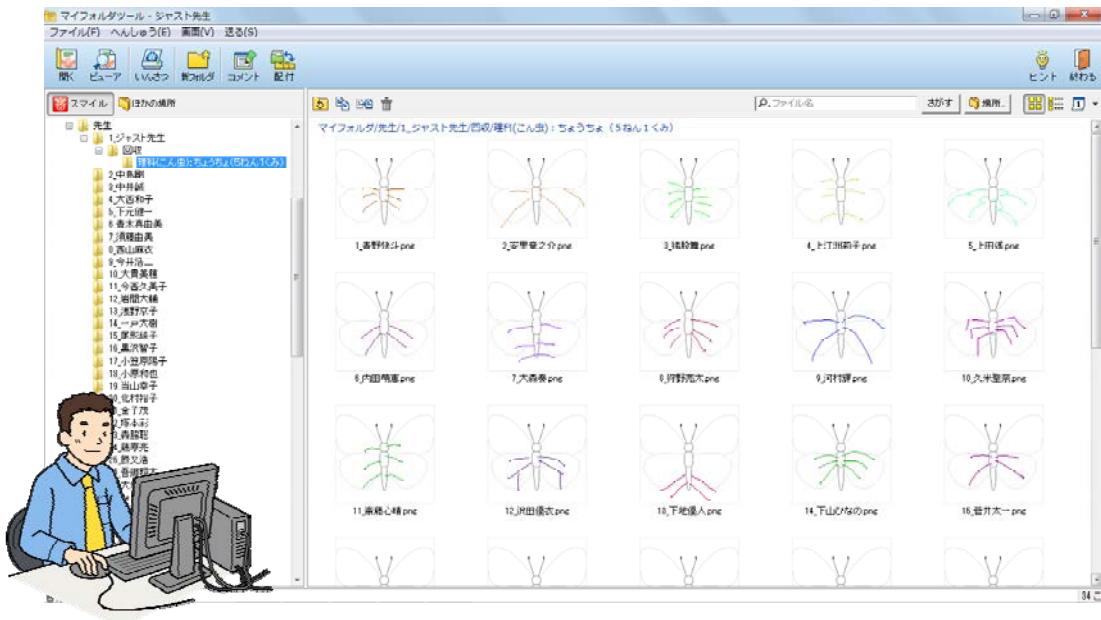


- ④ 回収状況が表示されます。確認したら、[閉じる]をクリックします。



- ⑤ 先生機のマイフォルダに【回収フォルダ】が作成され、回収されたファイルが表示されます。

このとき、回収されたファイルのファイル名は、「1\_青野快斗.png」のように、児童生徒の名前に自動的に変更されるので、同じファイル名でうっかり上書きしてしまわないようになっています。



## 操作 児童生徒機の画面を拡大・比較表示する【先生】

児童生徒のパソコン画面を取り上げ、電子黒板などに大きく写したいときに便利です。

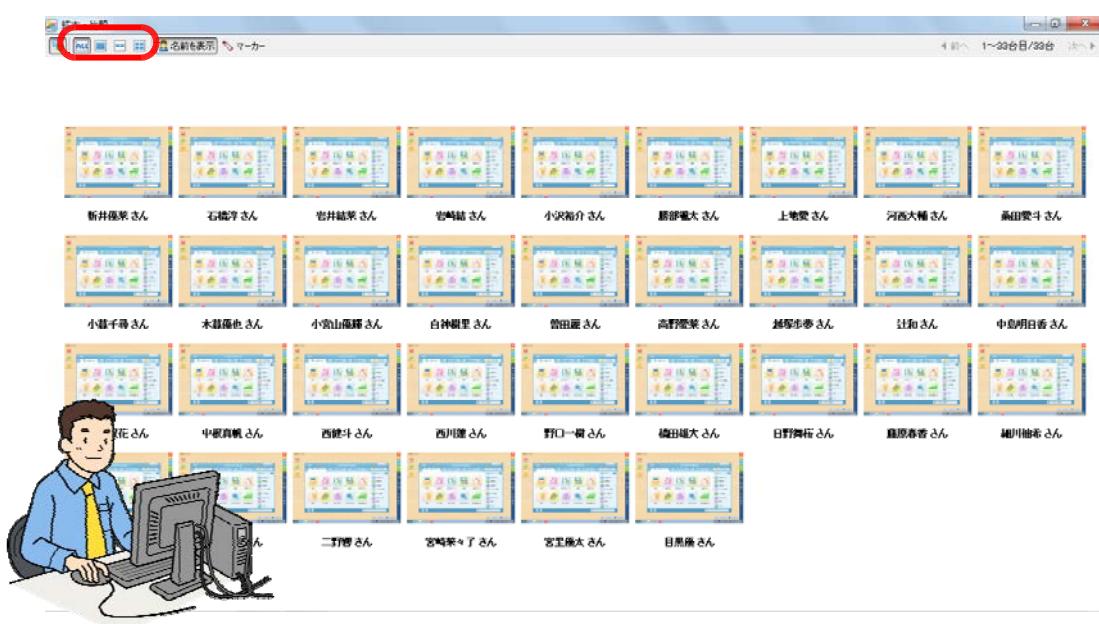
### 【先生側の操作】

- ① メイン画面で、画面を拡大・比較したい児童生徒機のサムネイル画面をクリックして選択します。

どの児童生徒機も選択されていない場合は、すべての児童生徒機が対象となります。

- ② コマンドバーの  をクリックします。

- ④ 別ウインドウで【拡大・比較】の画面が開きます。  
対象となる全台の画面が収まるように表示されます。



このとき、拡大・比較画面の左上のボタン  で、  
全台表示／1台表示／2台表示／4台表示を切り替えることができます。



また、右上のボタンで、拡大・比較表示する児童生徒機を切り替えることができます。



- ⑤ 拡大・比較画面を終了するには、  
【拡大・比較】画面右上のボタン  をクリックします。

## 操作 一時的に、児童生徒機の操作を禁止する【先生】

作業の手を止めて、先生の話に注目してほしいときには、[操作禁止] を使いましょう。

### 【先生側の操作】

- ① メイン画面で、操作を禁止したい児童生徒機のサムネイル画面をクリックして選択します。

どの児童生徒機も選択されていない場合は、すべての児童生徒機が対象となります。

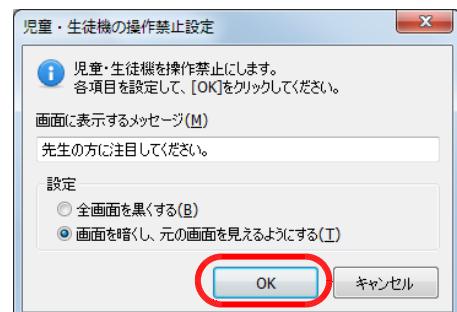
- ② コマンドバーの  をクリックします。

- ③ 操作禁止の設定画面が出ます。

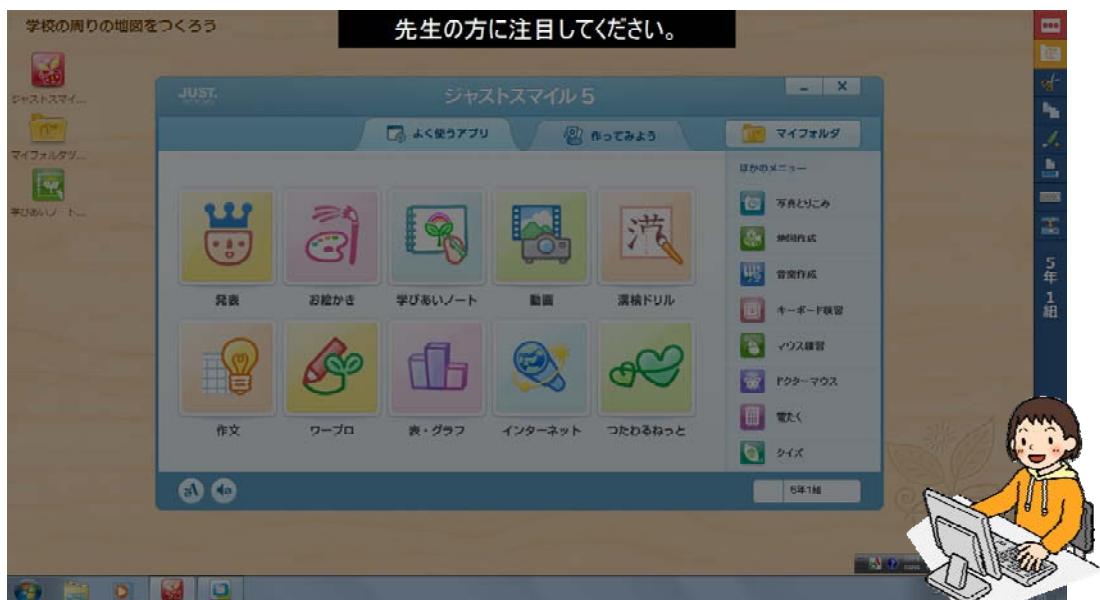
操作禁止画面に表示する「メッセージ」と、

- ・画面を完全に黒くするか、
  - ・うっすら見えるぐらいに暗くするか
- を選択することができます。

設定ができたら [OK] をクリックします。



- ④ 選択された児童生徒機の画面が、上記の指定通り暗くなります。  
また、キーボード・マウスの入力が無効になります。



このとき、先生機の授業ソーターのメイン画面では、操作禁止となっている児童生徒機のサムネイル画面の右上に  マークが表示されます。



- ⑤ コマンドバーの  をクリックすると、すべての児童生徒機の操作禁止状態が解除されます。

## 操作 児童生徒機に、特定の画面を一斉配信する【先生】

細かな資料を見せるときなど、電子黒板などの大きな画面に映すより、各児童生徒の目の前の画面に映し出した方が読みやすい場合があります。[画面配信] を利用すれば、特定の1台の画面を他のパソコンに転送し、画面表示させることができます。

### 【先生側の操作】

① コマンドバーの  をクリックします。

② 画面配信用の設定パレットが出るので、ここで配信方法を設定します。



配信元としては、

- ・このパソコンの画面 (授業サポートを実行している先生機のプライマリモニタ)
- ・先生操作機 (アシストボタン先生機用を実行している先生機の画面)
- ・児童生徒機のうち、任意の1台

を選択することができます。

配信先としては、

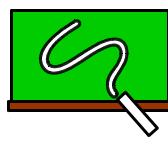
- ・全員(授業サポートを実行している先生機を除く)
- ・先生操作機
- ・メイン画面で選択されている児童生徒機(複数指定可能)
- ・児童生徒機のうち、任意の1台

を選択することができます。

③  をクリックすると、画面配信が開始されます。

④  をクリックすると、画面配信は終了します。

### ● Step Up ● マーカー機能で、ここに注目！



先生画面を配信するとき、  
肝心なところをマーク機能で  
書き込むと、注目させたい  
ところがわかりやすくなります。



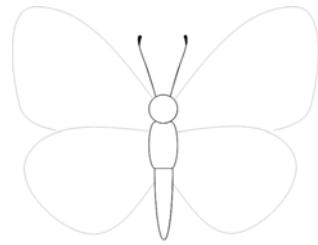
マークで書き込めるのは、授業サポートを実行している先生機の画面のみです。  
児童生徒機の画面にマーク書き込みを行って配信することはできません。

## 操作 クイズ風の演出で、授業を盛り上げる【先生】

授業サポーターならではの機能として、「みんなの答え」があります。  
クイズ番組の早押しボタンのように使えます。

### 【先生側の操作】

- ① 事前に、先生から児童生徒に問題を出しておきます。  
たとえば、ちょうどちょの足がどこから何本出ているか、  
書き込ませる画像ファイルを児童生徒に配付し、ファイルを開いてスマイルペイントなどで回答を書き込ませます。

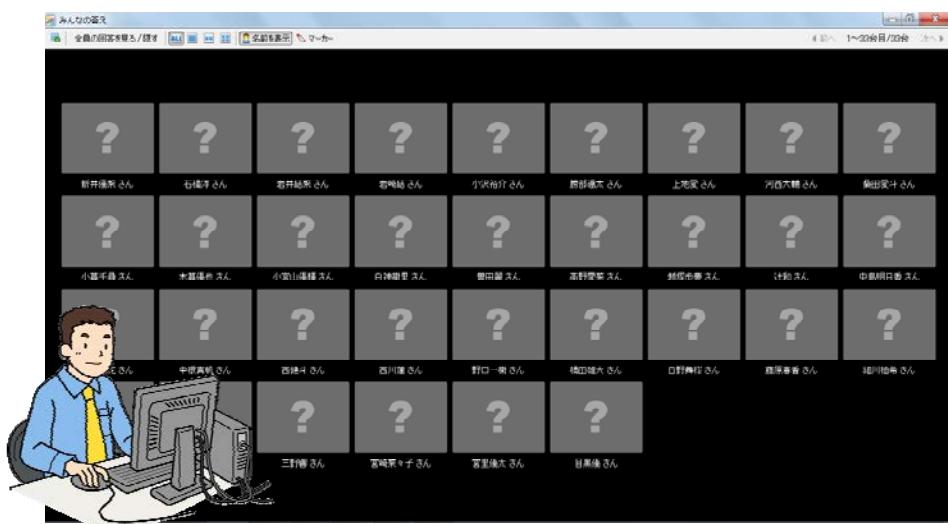


- ② コマンドバーの  「みんなの答え」 をクリックします。

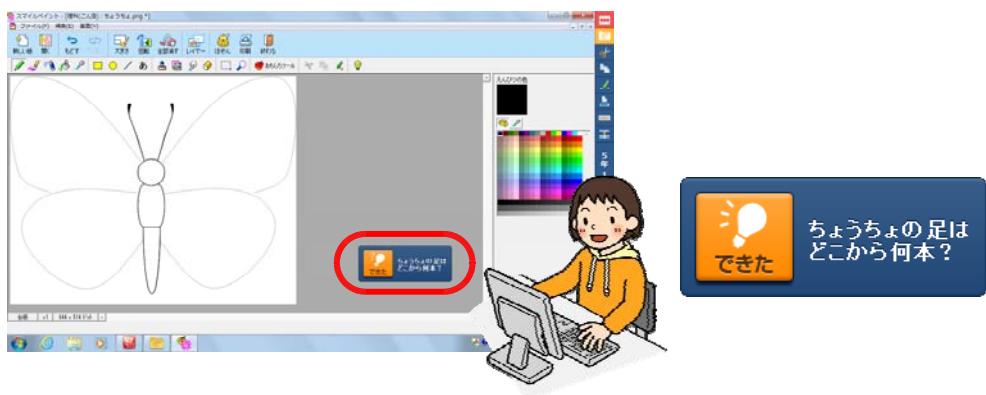
- ③ [テーマ] の文字枠に、  
何について回答を作成するのか、  
「お題」を20文字以内で入力します。



- ④ [開始する] をクリックすると、  
・先生機では、児童生徒の回答状況画面が開きます。

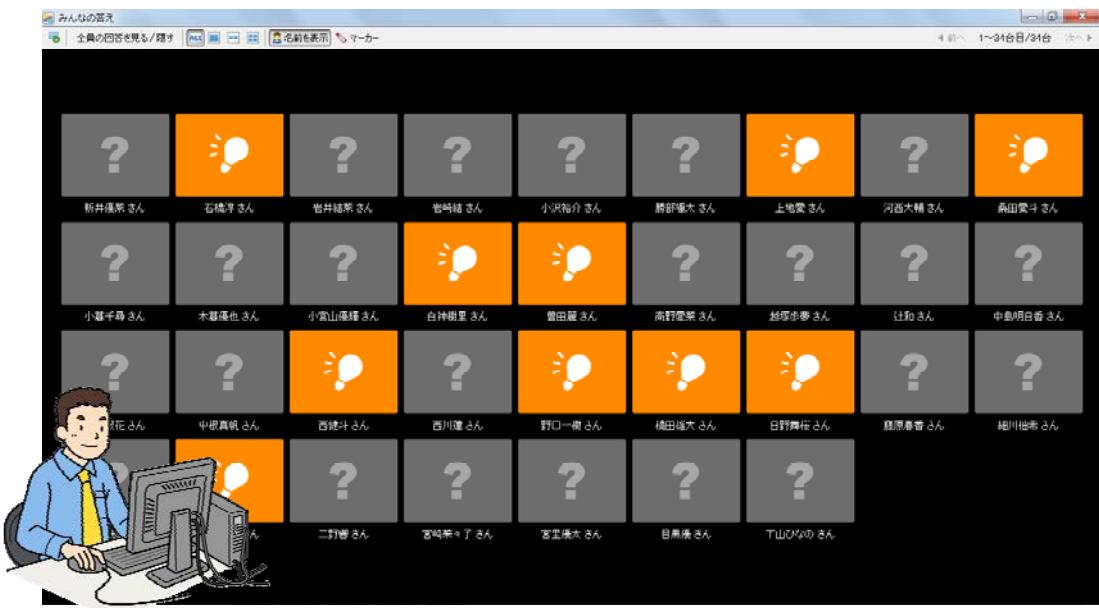


- ・児童生徒機の画面には、[できたボタン] が出現します。

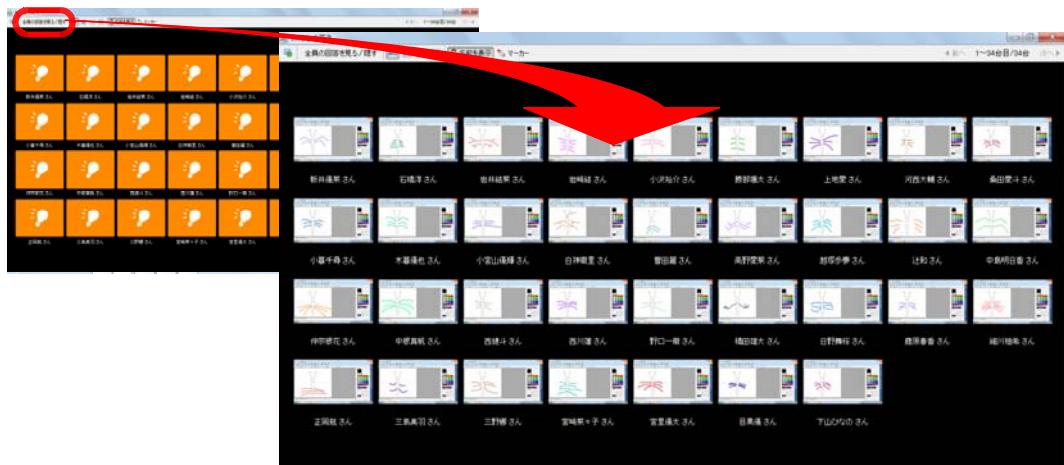


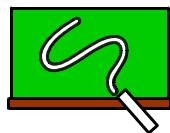
- ⑤ 児童生徒が回答を作成し、[できたボタン] をクリックすると、

先生機の回答状況画面の表示が、 から に変化します。



- ⑥ 児童生徒が [できたボタン] をクリックし、全員の回答が出そろったら、回答状況画面左上の [全員の回答を見る/隠す] をクリックすると、児童生徒機の現在の画面が一斉に表示されます。

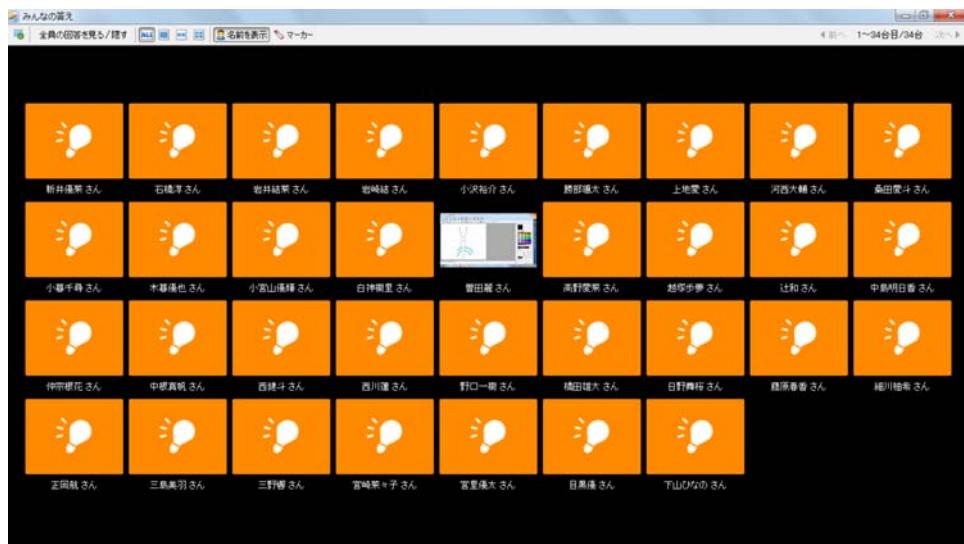




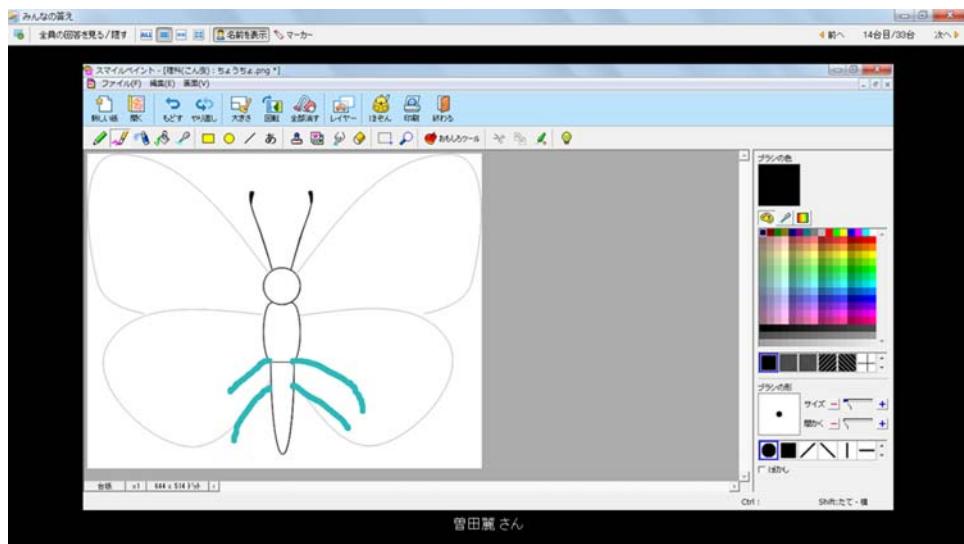
## ● Step Up ● 児童生徒機を選択して見ることもできる

回答のオープン方法は、[全員の回答を見る/隠す]だけではありません。

回答状況画面で、気になる児童生徒機のサムネイル画面をクリックすると、その児童生徒機の現在の画面だけを開いて見ることができます。再びクリックすると、回答状況表示に戻ります。



また、サムネイル画面をダブルクリックすると、その児童生徒機の1画面の拡大表示になります。全員の画面表示に戻すには、左上の **ALL** ボタンをクリックします。



全員が答え終わっていない段階で、前の電子黒板などに、だれかの回答内容が表示されてしまうと、ネタバレになることがありますので、確認中は電子黒板に画面が出ないようにするなど、ご注意ください。

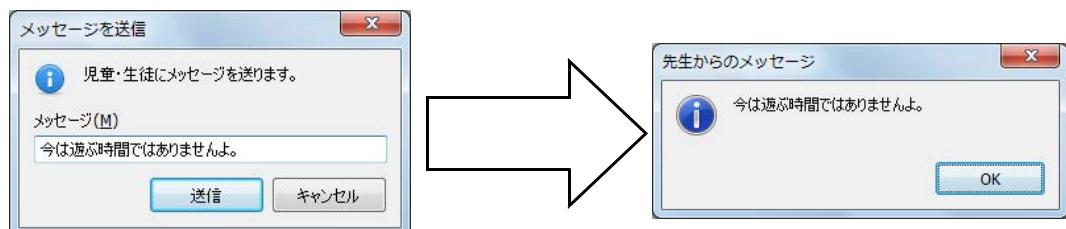
## 1 – 4. 授業進行に活用する(2)

ほかにも、ツールボックスのボタンから、次のような機能が利用できます。



### ① メッセージ

選択した児童生徒機に、短い文字でメッセージを送信できます。



### ② 録画開始

選択した児童生徒機(1台)の画面を、動画として保存できます。

動画ファイルは、先生機のマイビデオフォルダーに、AVI形式で保存されます。

### ③ リモート操作

選択した児童生徒機(1台)を、先生機から操作できます。

### ④ 学びあいノート(先生用)

### ⑤ プチアンケート

「学びあいノート(先生用)」や「プチアンケート」を起動します。

詳しくはP.18以降の「学びあいノート」の章で説明します。

## 1 – 5. 電子黒板で便利な「授業ツール」を活用する

授業サポートを実行している先生機では、小さな「授業ツール」パレットが表示されます。電子黒板で便利なので活用しましょう。

授業ツールが表示されないときは、スタートメニューの【授業ツール】から起動できます。



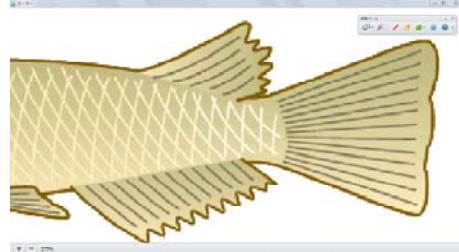
### ① モニターカット

先生機に複数の画面やプロジェクターが接続されているとき、画面の出力先を手軽に切り替えることができます。



### ② ズマード

先生機の画面の一部分を、大きく拡大して表示することができます。



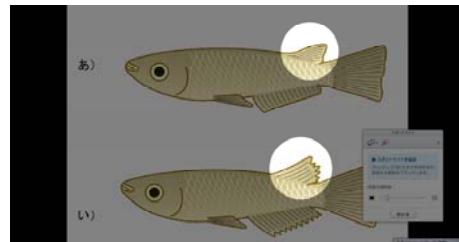
### ③ マーカー

先生機の画面の好きなところに、マウスで自由に線が書き込めます。



### ④ スポットライト

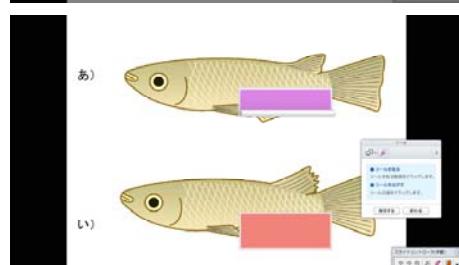
先生機の画面を暗くして、注目させたい部分だけを明るく表示できます。



### ⑤ シール

先生機の画面に、マウスでめくってはがせるシールを貼ることができます。

図表などの大事なところを隠し、考えさせるときに便利です。



### ⑥ タイマー

カウントダウン形式のタイマーを呼び出せます。画面いっぱいに表示することもできます。



### ⑦ ヘルプ

上記の各ツールの使い方を詳しく説明しています。

## 1 – 6. 授業を終了する

### 操作 パソコンを使った授業を終了する【先生】

パソコンを使った授業を終了する際は、[授業終了] が便利です。

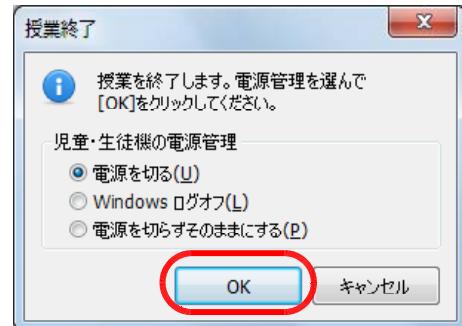
#### 【先生側の操作】

① コマンドバーの  をクリックします。

② 終了方法の選択画面が出ます。

- ・電源を切る
  - ・Windowsログオフ
  - ・電源を切らずそのままにする
- から選択することができます。

選択したら [OK] をクリックします。



③ すべての児童生徒機について、上記で選択した処理が実行されます。

## 2. 学びあいノート

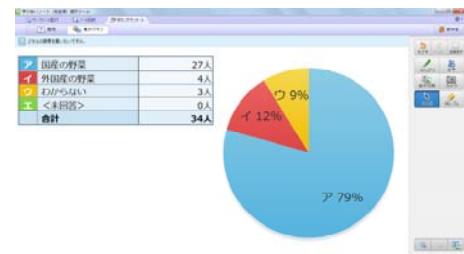
ジャストスマイル5 /R.2・ジャストジャンプ5 /R.2に搭載された、新しい「学びあいノート」について紹介します。

### 2-1. 学びあいノートについて

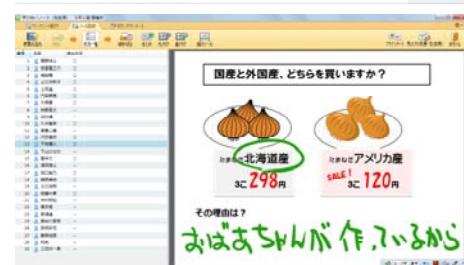
「学びあいノート」は、児童生徒が自分の意見や回答を自由に表現できる、デジタルノートです。キーボードやマウスはもちろん、タッチペンやWebカメラの取り込みにも対応しており、自由な表現で意見をまとめることができます。

また、学びあいノートは、先生機と児童生徒機の間で連携できるのも魅力です。たとえば、次のようなことができます。

- ・簡易アンケートをとり、  
クラスの意見を  
リアルタイムにグラフ表示



- ・先生が作ったワークシートを配り、  
児童生徒が書き込んだ内容を回収する



- ・各児童生徒の意見を  
先生がその場でピックアップして、  
意見の全体感をフィードバックする



- 「学びあいノート」の先生機と児童生徒機との情報のやりとりは、ジャストスマイル・ジャストジャンプの「年・組・名前」による個人ログインを利用しておらず、「みんなのフォルダ」が利用できる環境で利用できます。設定や運用方法によっては、一部の機能が利用できない場合があります。



#### ● One Point ● R.2で強化されたポイント

2013年6月発売の「ジャストスマイル5 /R.2」「ジャストジャンプ5 /R.2」に搭載されている「学びあいノート(Ver.1.2)」では、下記の機能が強化されました。

- ・児童生徒がノートや回答を何度も提出し直せるように
- ・先生がまとめた内容を電子黒板に写す提示用ツールが追加
- ・提出されたノートを正誤判定する「丸付け」機能が追加

## 2-2. 先生側の準備画面と3つの使い方

学びあいノートは、ガイドメニューの「学びあいノート」ボタンから開きます。



### 操作 学びあいを開催する【先生】

先生ユーザーでログインした状態で学びあいノートを起動すると、右のような先生専用の設定画面が表示されます。



先生機・児童生徒機を連携させた授業をスタートするには、次のように操作します。

- モードで「召喚モード」を選択する
- クラス設定で、授業を行う「年・組」を選択する
- 「ワークシート配付」「ノート回収」「ボタンでアンケート」のいずれかをクリック

右側の「学びあいノート」をクリックすると、白紙のノートが開きます。

なお、児童生徒機では上の先生用設定画面は出ず、常に白紙のノートが開きます。



#### ● One Point ● 学びあいは「年・組」を指定してスタート

学びあいノートの先生機・児童生徒機の連携は、「年・組」を指定して利用します。

児童生徒が6年1組でジャストスマイルにログインしているのに、先生が学びあいの開催画面で「5年1組」を選択していると、先生機・児童生徒機の連携ができませんのでご注意ください。

## 2-3. 「ボタンでアンケート」を実施する

児童生徒にアンケートを採ってみましょう。結果はリアルタイムにグラフ表示されます。

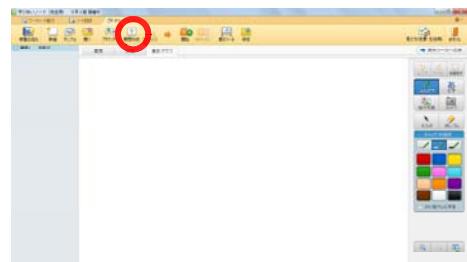
### 操作 「ボタンでアンケート」を準備する【先生】

#### 【先生側の操作】

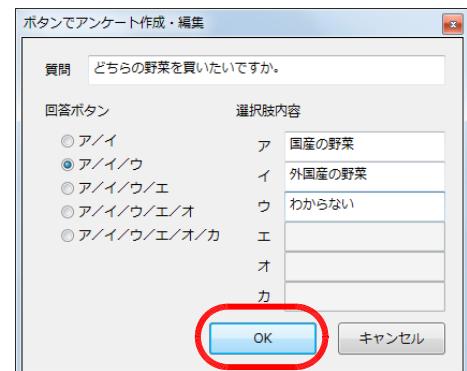
- ① 設定画面で、「開催モード」と適切な「年・組」を選んだ状態で、「ボタンでアンケート」をクリックします。



- ② 先生用の学びあいノート画面が開きます。  
まずは、 ボタンをクリックします。



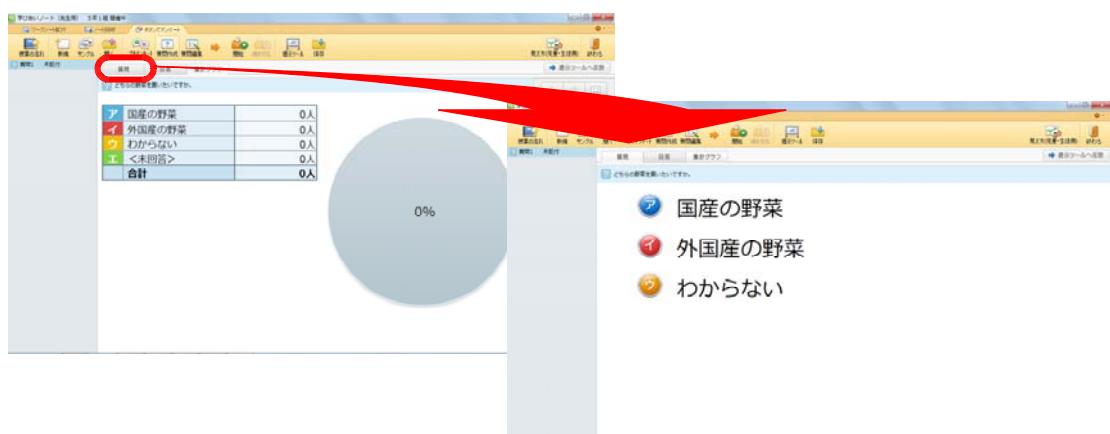
- ③ アンケートの設定画面が開きます。  
ここでは、右のように、  
●質問文  
●選択肢の個数  
●選択肢の文章  
を設定します。



設定できたら、[OK] をクリックします。

- ④ アンケートの集計グラフ画面が表示されます。

[質問] タブをクリックすると、児童生徒側の回答用画面も確認できます。



質問を修正する場合は、コマンドバーの ボタンをクリックします。

これで、アンケートを行う準備ができました。

## 操作 「ボタンでアンケート」を開始する【先生】

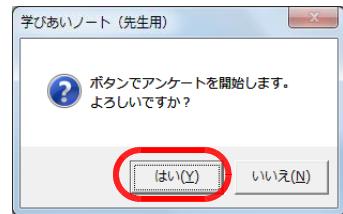
### 【先生側の操作】

- ① 質問の準備ができたら、コマンドバーの



ボタンをクリックします。

- ② 確認のダイアログが出るので、[はい] をクリックすると、アンケートがスタートして、児童生徒機の学びあいノートにボタンが配付されます。



## 操作 「ボタンでアンケート」に回答する【児童生徒】

### 【児童生徒側の操作】

- ① ガイドメニューの

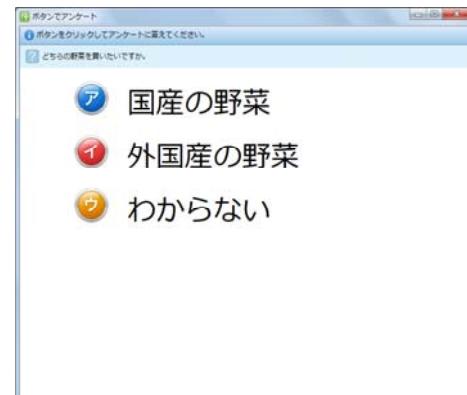


ボタンをクリックして、学びあいノートを開きます。このとき、先生が学びあいを開催していると、その旨が通知されます。

- ② 先生が「ボタンでアンケート」を開始すると、自動的に右のようなアンケート画面が開きます。

選択肢の前についているボタンをクリックすると、回答したことになります。

先生が回答を締め切るまでは、何度でも自分の答えを変えることができます。



## 操作 「ボタンでアンケート」の回答状況を確認する【先生】

### 【先生側の操作】

- ① アンケート受付中に、先生用の学びあいノートの【集計グラフ】タブをクリックすると、現在の回答状況がグラフ表示されます。

結果のグラフは、児童生徒が回答するたびに、リアルタイムで更新されます。



- ② また、【回答】タブをクリックすると、だれがどの回答を選んだかを一覧で確認できます。

番号	名前	回答	内容
23	那須道	ア	国産の野菜
24	西山ひかり	ア	国産の野菜
30	三田村一真	ア	国産の野菜
28	牧原	ア	国産の野菜
29	牧野優花	ア	国産の野菜
21	仲村玲玲	ア	国産の野菜
10	久木藍奈	ア	国産の野菜
5	上田道	ア	国産の野菜
14	下山ひなの	ア	国産の野菜
22	長友恵	ア	国産の野菜
17	田口実乃	ア	国産の野菜
33	山地大夢	ア	国産の野菜
26	早坂み花	ア	国産の野菜
19	土江恭規	ア	国産の野菜
6	内田直重	ア	国産の野菜

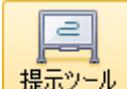
## 操作 「ボタンでアンケート」を締め切る【先生】

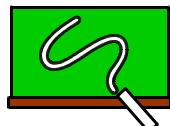
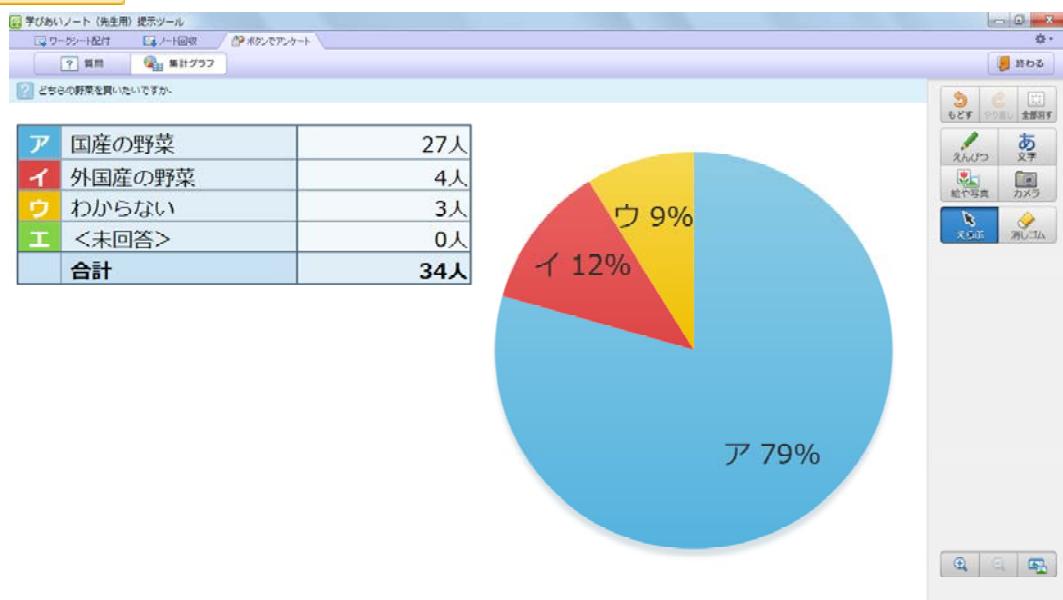
【先生側の操作】

- ① 先生用の学びあいノートの  
します。



ボタンをクリックすると、回答の受付を終了

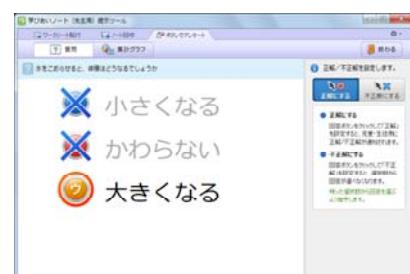
- ②  ボタンをクリックすると、集計結果を大きく表示できます。



### ● Step Up ● 正解・不正解を示すこともできる

正解・不正解のあるアンケートでは、  
児童生徒のアンケート画面に  
「○ 正解」「× 不正解」を表示させることもできます。

正解・不正解の設定は、  
アンケートを締め切る前に、  
コマンドバーの [提示ツール] ボタンから行います。



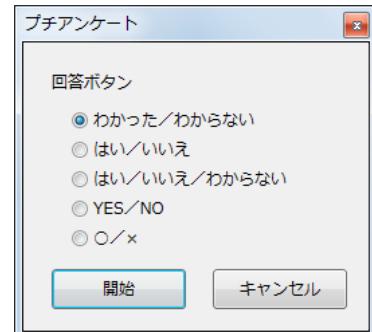


### ● One Point ● プチアンケートなら、もっとカンタン！



コマンドバーの **プチアンケート** ボタンをクリックすると、右のような画面が出て、すぐにアンケートが実施できます。

プチアンケートでは問題文・選択肢の項目を文字入力する必要がないので、5秒でアンケートがスタートできます。  
問題の内容は、先生が口頭で説明してください。



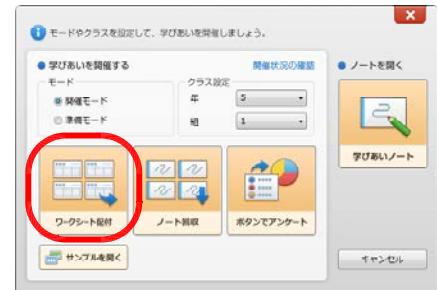
## 2-4. 「ワークシート配布」をする

先生があらかじめ問題を書き込んだデジタルノートを、児童生徒機に配ることができます。

### 操作 ワークシートを準備する【先生】

#### 【先生側の操作】

- ① 先生機で学びあいノート(先生用)を開いていないときは、[モード]と[クラス設定]を設定し、[ワークシート配付]ボタンをクリックして始めます。

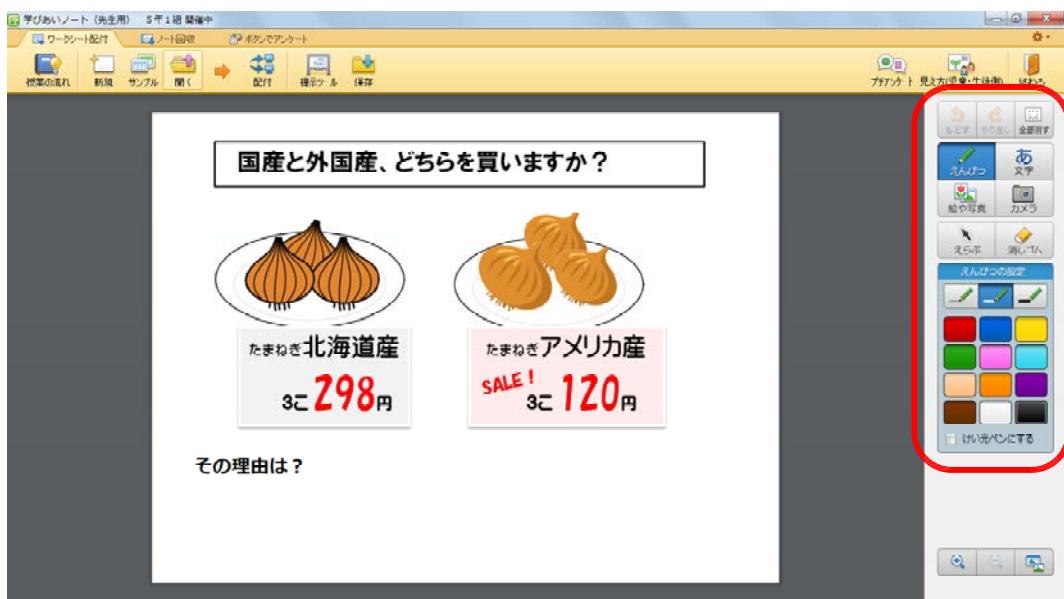


すでに先生用の学びあいノートを開いている場合は、一番上の[ワークシート配付]タブをクリックして、画面を切り替えます。



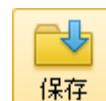
- ② [ワークシート配付]の画面が開きます。

右側のツールパレットを使って、イラストや文字を配置し、下の図のように、児童生徒が答えを書き込むためのワークシートを作ります。



#### ● One Point ● ワークシートは事前に作っておくとスムーズ

作成したワークシートは、コマンドバーの  
クリックして保存しておくことができます。



ボタンを

授業で使う際は、コマンドバーの  ボタンから  
作っておいたワークシートを取り出して、すぐに使えます。

## 操作 ワークシートを配付する【先生】

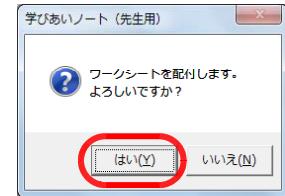
### 【先生側の操作】

- ① ワークシートの準備ができたら、



ボタンをクリックします。

- ② 確認のダイアログが出るので、[はい] をクリックします。



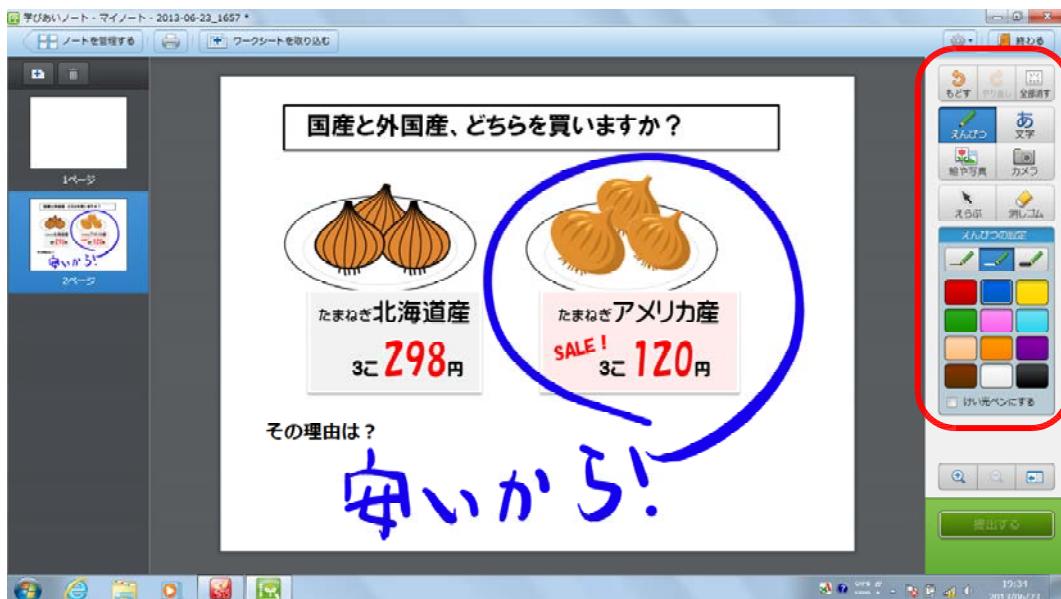
## 操作 ワークシートに答えを書き込む【児童生徒】

### 【児童生徒側の操作】

- ① 児童生徒機の学びあいノートでは、ワークシートが配付される旨のメッセージが出るので、[はい] をクリックします。



- ② 児童生徒の学びあいノートに、先生が配ったワークシートのページが追加されます。児童生徒は、右側のツールパレットを使って、意見や回答を書き込みます。



## 2-5. 「ノート回収」をする

児童生徒のノートを回収するときは、「ノート回収」で行います。

### 操作 ノートの回収を開始する【先生】

#### 【先生側の操作】

- ① 先生用の学びあいノートの一番上の「[ノート回収]」タブをクリックして、画面を切り替えます。



- ② コマンドバーの  ボタンをクリックして、ノート回収を開始します。

- ③ 確認のダイアログが出るので、[はい] をクリックします。

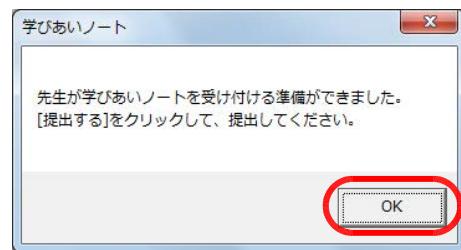


### 操作 ノートを提出する【児童生徒】

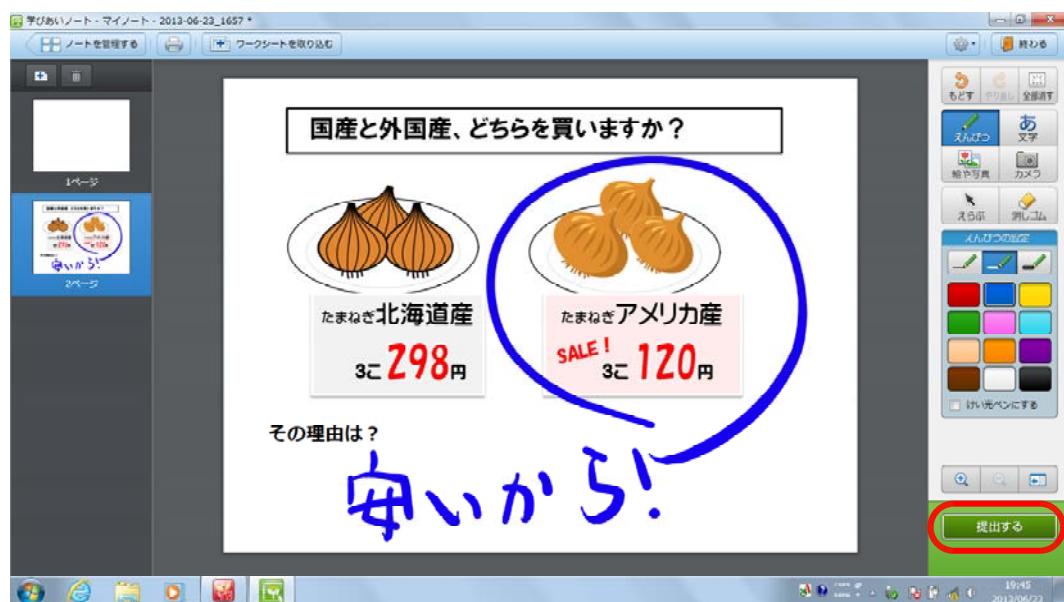
#### 【児童生徒側の操作】

- ① 先生がノート回収を開始すると、児童生徒機の学びあいノートには、右のようなメッセージが出ます。

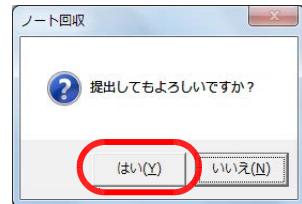
確認したら、[OK] をクリックします。



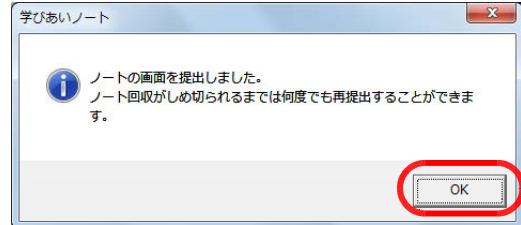
- ② 学びあいノート右下の  ボタンがクリックできるようになるので、書き込んだ意見や回答を提出するときは、このボタンをクリックします。



- ③  ボタンをクリックすると、提出してよいか確認が出るので、問題なければ [はい] をクリックして、提出を完了します。



- ④ 提出後は、右のようなメッセージが出ます。確認したら [OK] をクリックして閉じます。



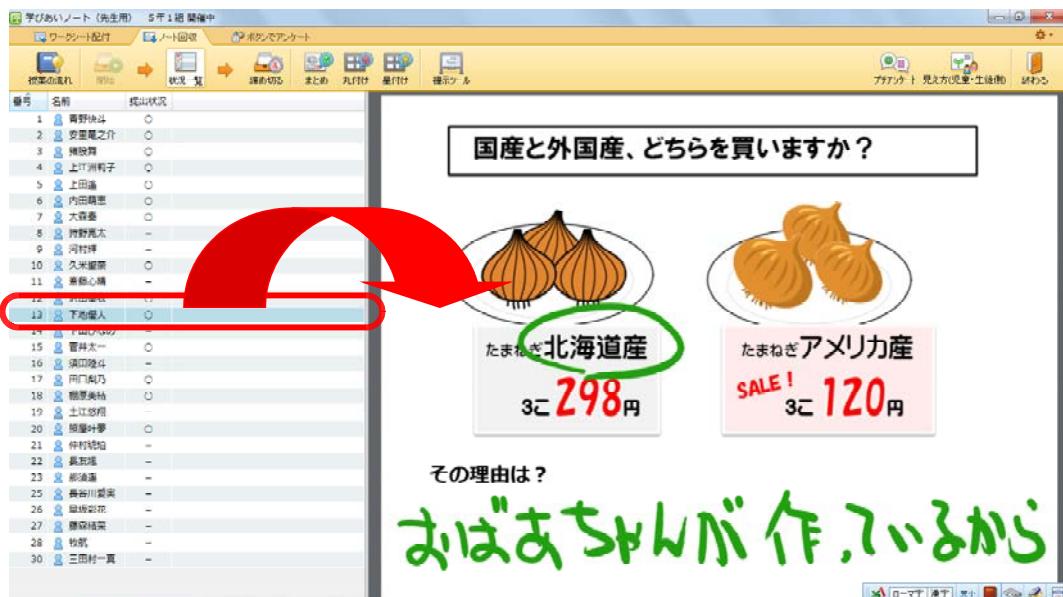
● One Point ● 提出されるのは、今開いているページだけ

児童生徒機の  ボタンを押したときに  
先生に提出されるのは、今開いているページだけです。  
複数のページを作っているときは、ご注意ください。

## 操作 ノートの提出状況を確認する・回収を締め切る【先生】

### 【先生側の操作】

- ① 学びあいノート(先生用)の画面では、ノートの提出状況を確認することができます。提出済みの児童生徒の名前には○印が付き、クリックすると提出されたノートを確認することができます。



- ② 回収を締め切るときは、コマンドバーの  ボタンをクリックします。

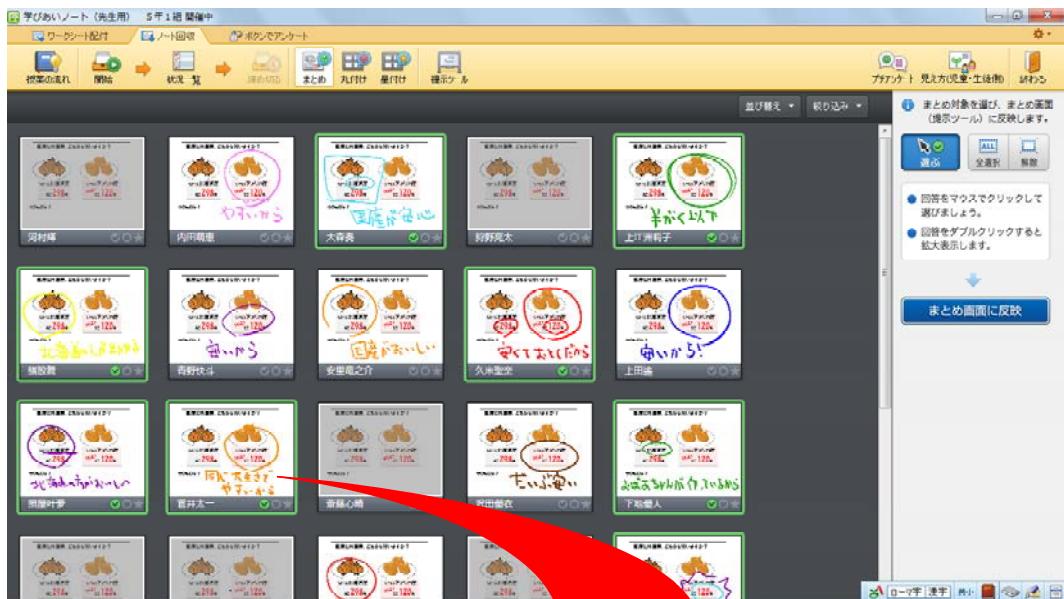
締め切ると、児童生徒機には回収が締め切られた旨のメッセージが出て、  
以後、 ボタンはクリックできなくなります。

## 操作 提出されたノートの中から、取り上げるノートを選ぶ【先生】

児童生徒のノート提出を締め切ったら、まとめに入ります。  
まずは、まとめで取り上げるノートをピックアップします。

### 【先生側の操作】

- ① コマンドバーの  ボタンをクリックすると、提出された意見や回答が下の図のように一覧表示されます。
- ② 全員の意見をざっと見ながら、まとめとして取り上げる意見や回答を、いくつかクリックして選びます。選ばれたノートは、緑色の枠で囲まれます。



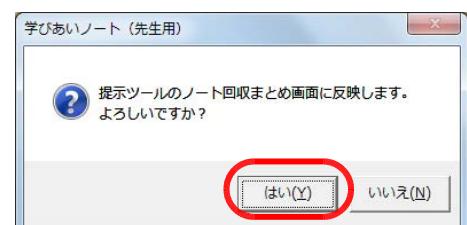
サムネイル画面が小さくて、意見や  
答えが確認しづらいときは、ダブル  
クリックすると、拡大表示できます。



- ③ ノートを選び終わったら、右側の  ボタンをクリックします。

確認のダイアログが出るので、[はい] をク  
リックします。

これで、まとめを行う準備ができました。



## 操作 選んだノートをまとめる【先生】

取り上げる意見を選んだら、いよいよ【提示ツール】でまとめを行います。

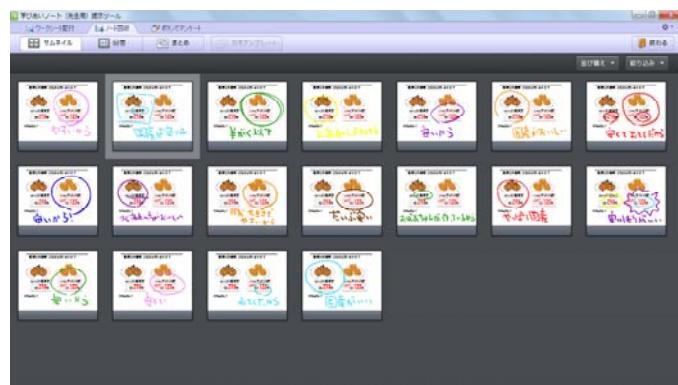
【先生側の操作】

① コマンドバーの



ボタンをクリックします。

【提示ツール】が開き、提出されたすべてのノートが一覧表示されます。

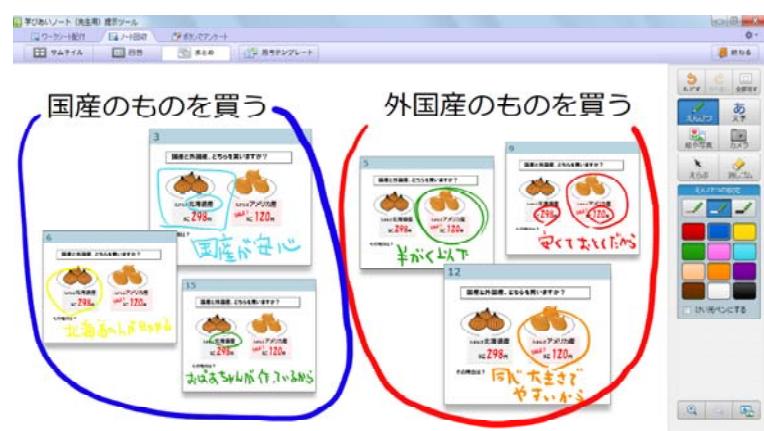


② ボタンをクリックすると、先ほど先生が選んだノートだけが表示されます。



③ ノートはドラッグして場所を変えたり、四隅をつかんで大きさを変えたりできます。似た意見を近い場所に置き、グルーピングを行いましょう。

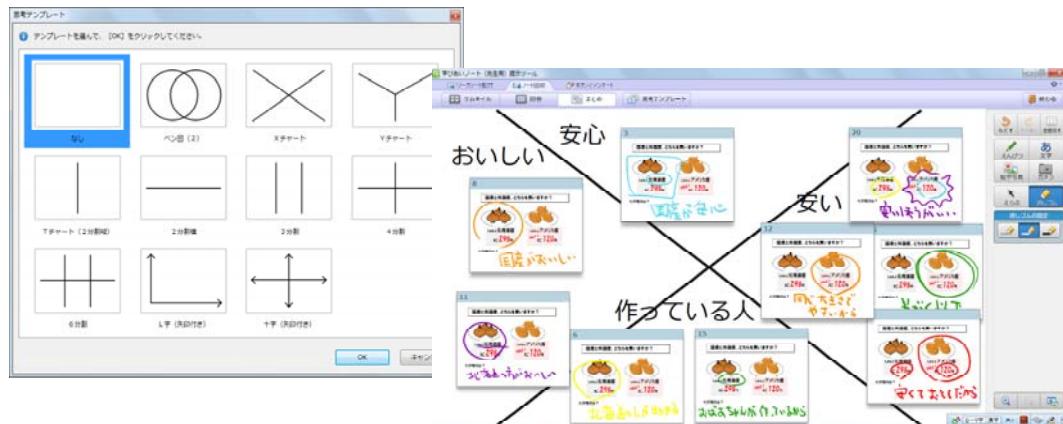
意見のまとめりを整理できたら、電子黒板などに提示して、まとめた内容を説明します。





### ● One Point ● 整理に役立つ「思考テンプレート」

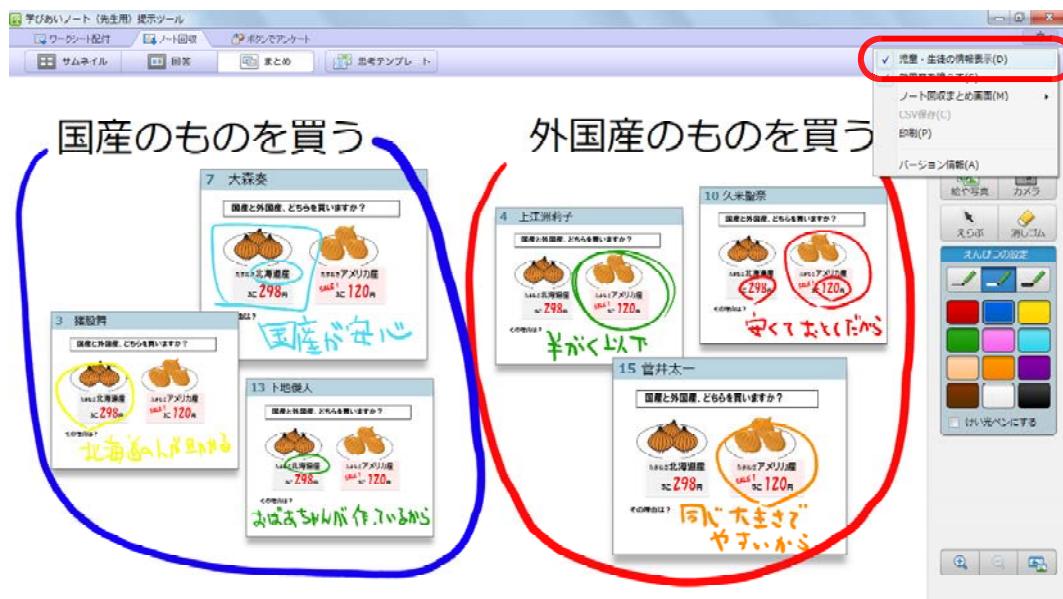
意見をまとめると、[思考テンプレート] を台紙に置くと、整理の助けとなります。

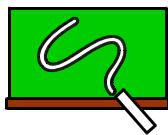


### ● One Point ● だれのノートか、名前を表示することもできる

話しあいノート(先生用)の[提示ツール]では、ノートに作成者の名前を表示していません。これは「先入観なく、さまざまな意見に触れられるように」との配慮から、あえて非表示を標準設定としているものです。

先生の設定により、ノートの作成者の名前を表示させることもできます。名前を表示させたいときは、[提示ツール] 右上の歯車のマークをクリックし、[児童・生徒の情報表示] のチェックを入れてください。





## ● Step Up ● 「星付け」で、意見への共感度を集計

「星付け」では、先生が選んだ代表的な意見について、どれくらい共感できるか、クラス内で相互評価を行って結果を集計表示できます。



コマンドバーの **星付け** ボタンをクリックして、星付けを行うノートをいくつか選んでクリックします。選ばれたノートは、黄色の枠で囲まれます。



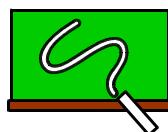
右側の [星付けを開始する] ボタンをクリックすると、児童生徒機に星付けの画面が出ます。

ここでは、それぞれのノートについて自分がどれくらい共感できるかを、星の数（1～5つ）で決めて、提出します。



児童生徒から提出された星の数はリアルタイムで集計され、先生側の学びあいノートでは、星付け対象となったノートの右肩に、提出された星の数の平均値が表示されます。



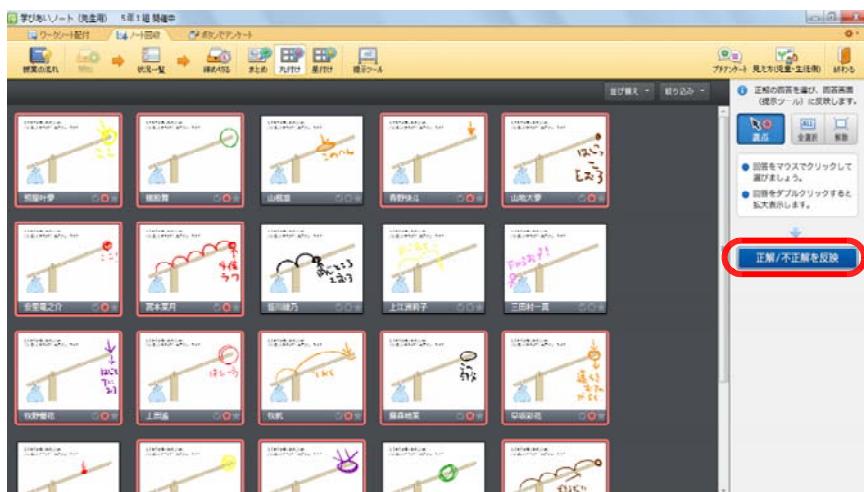


## ● Step Up ● 「丸付け」で、正解・不正解をフィードバック

「丸付け」では、提出されたノートを先生が丸付けして、児童生徒に正解・不正解の結果を返すことができます。  
正解・不正解のある問題に取り組むときに便利です。

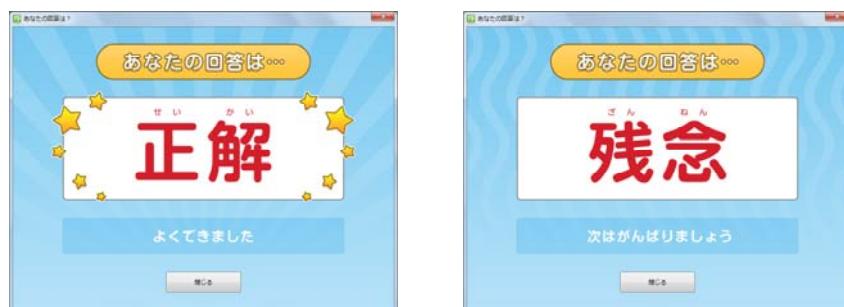
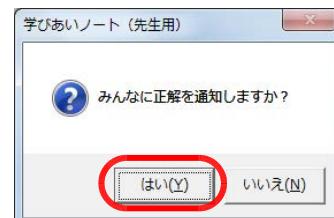


コマンドバーの **丸付け** ボタンをクリックして、丸付けモードに入ります。ノート一覧から、正解と判定するノートをすべてクリックします。選ばれたノートは、赤色の枠で囲まれます。



右側の [正解/不正解を反映] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックすると、各児童生徒の回答に、正解・不正解が設定されます。

先生の画面には、続けてみんなに正解を通知するか確かめるメッセージが表示されるので、[はい] をクリックすると、各児童生徒の画面に、正解／不正解の結果が表示されます。



---

ジャストスマイル5 /R.2 ジャストジャンプ5 /R.2 セミナーテキスト(別冊)  
[授業サポーター・学びあいノート]

---

平成25年9月

制作 ————— 福良伴昭

発行所 ————— 株式会社ジャストシステム

〒163-6017 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オーフタワー

TEL: 03-5324-7900

企画・編集 ————— 株式会社ジャストシステム

©2013 株式会社ジャストシステム

- 本テキストの一部、あるいは全部を無断で複写複製(コピー)することはできません。
  - 本書に記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
  - ソフトウェアの操作に関するご質問は、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
-